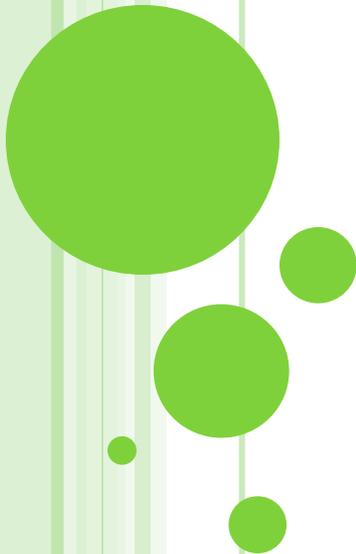


(新)みどりの基本計画

都市公園等の整備及び管理の方針に関する検討状況



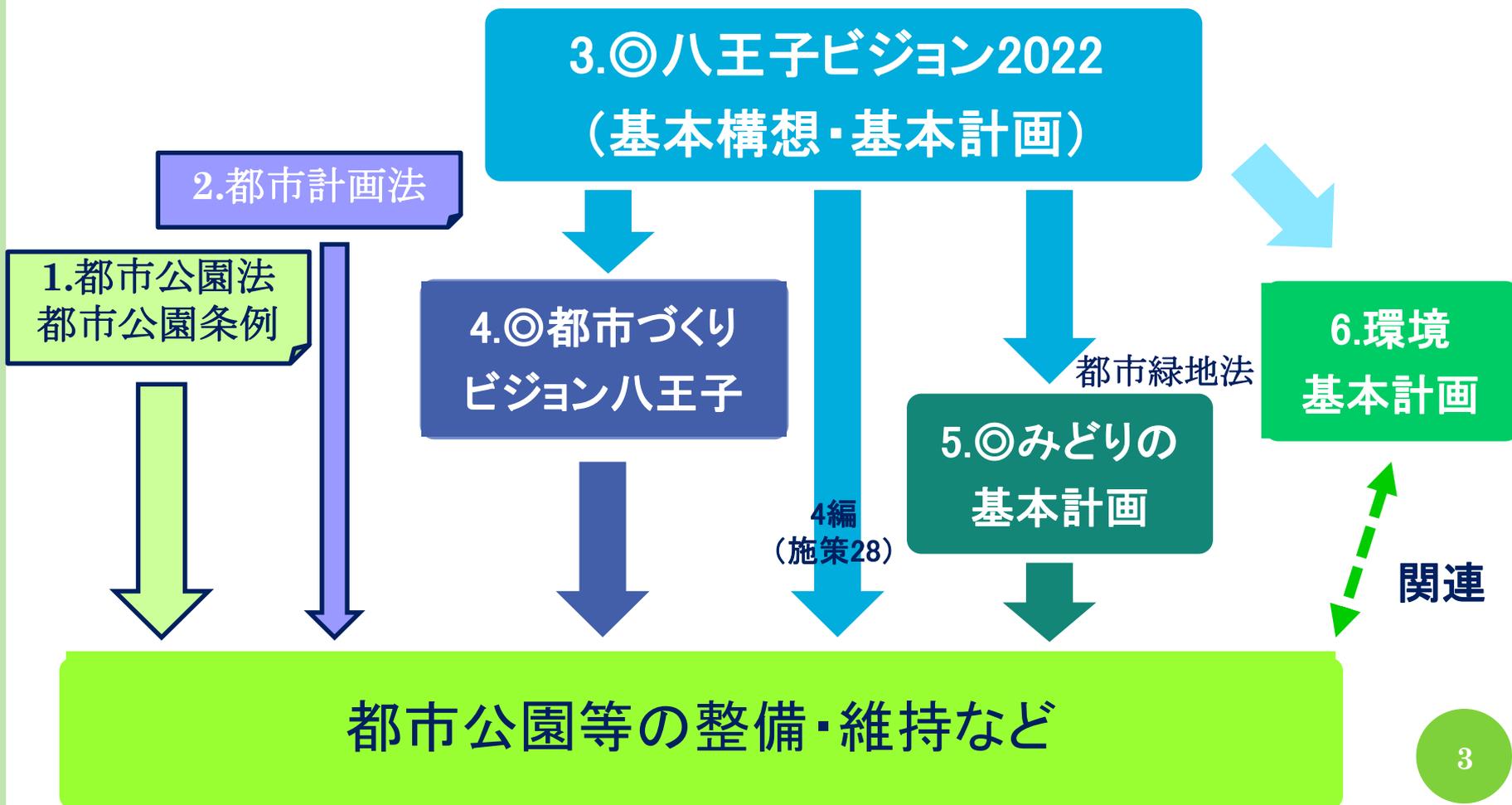
1. 本市の公園行政を取り巻く環境（現状）

1. 人口減少社会の到来、少子高齢化、財政縮小
2. 協働を担う市民の高齢化、ボランティア数は横ばい
3. 整備から相当年数を経過した公園、老朽化した施設が数多く存在
4. 都市公園配置の偏在 ※1人当たり都市公園敷地面積 **12.5m²**
✦ **12.18m²**（H30.3末）（都市公園条例第2条の3）
✦ 中央地域 **2.32m²**（H30.3末） H21 みどりの基本計画策定時 **2.99m²**
5. 長期未整備のままの都市計画公園の存在
6. 近年の気候変動、集中豪雨

2. 公園行政の今後の展開を検討するにあたって

(1) 主な関連法・関連計画との整合

※ 公園行政から見た関係図



(2) 計画目標の方向性

これまでは



これからは

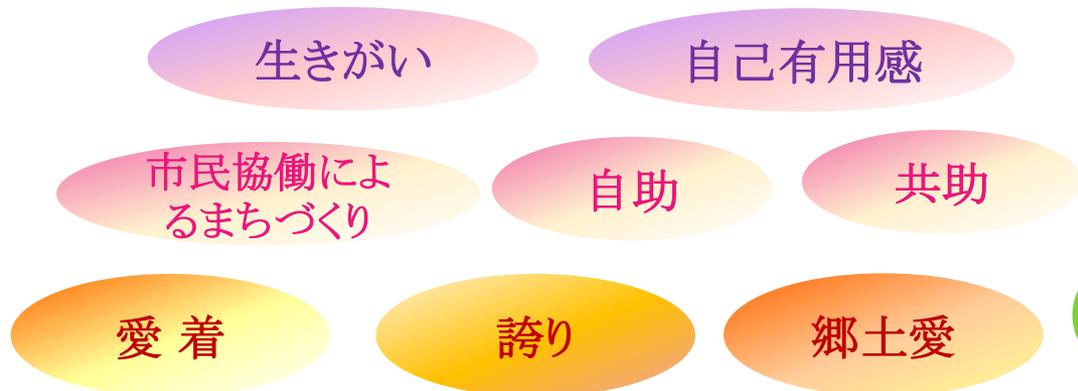


○ 質とは？ 質の向上と協働の広がりとの関係は？

公園の質の向上



市民の生活・文化の向上



3. 公園行政の主な課題

1. 計画の趣旨を踏まえ、今後10年間を見据えた指標の設定
2. 公園整備・維持管理方針の転換
3. 誘致距離のほか、利用状況や人口動態、今後の需要を考慮した公園配置
4. 人を惹きつけ、まちの文化を育む公園の整備
(地域コミュニティ発展の拠点となる公園整備)
5. 協働のすそ野を広げる取組
例：計画段階からの市民協働、積極的な情報発信
6. 民間活力の活用
7. 減災対策・防災機能の充実

4. 指標の考え方

(1) 一人当たり都市公園敷地面積 目標値 **12.5m²以上**

- 都市公園条例第2条の3において、定められている。
- 中央地域など、人口増加エリアでありながら長年、公園整備ができず都市公園が不足している地域もある

(2) 魅力ある良質なみどり、または、みどりや公園の維持管理に関する市民の意識を測る指標 (検討中)

- 新計画の方向性から、みどりや公園があることで、市民が感じられる生活の質の向上を把握できる指標が相応しいのではないかと。
- 協働のすそ野を広げていくことを目的にするのであれば、市民も巻き込み、ともに向上を目指していく指標がよいのではないかと。

5. 今後の公園行政の展開(抜粋)

(1) 公園整備・維持管理方針の転換

人口減少 厳しい財政状況 適切な管理・安全確保

- 年数が経った樹木→大木化、密集、倒木
- 老朽化した遊具などの公園施設

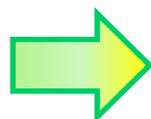


古びた

暗い

さびしい

危険



どうする？
どんな空間に？

明るい

安らぎ

温もり

安心

清潔



そのためには、だれが、何をしたらいいのか。

行政・市民・事業者 何ができるのか。

(例)

- 樹木の状況を適切に把握しながら維持管理していくための「樹木伐採ガイドライン」の作成
- 遊具などの公園施設の更新時に地域のシンボルや歴史などを尊重しながら、これからの地域のニーズを踏まえた新たな機能への転用(広場化など)
- 長寿命化計画の更新、特徴ある公園のパークマネジメント計画の作成
- 指定管理者の積極的自主事業の推進
- 地域コミュニティの促進や子育て支援の拠点となる公園の重点整備

6. 長期未整備の都市計画公園の対応

(1) 公園の誘致圏を考慮した適正な配置

➤ 誘致圏とは、公園を新規に配置する際の基準。公園種別ごとの誘致距離を表す円によって、その区域が覆われるよう考慮する。誰もが利用できるよう、歩いていけることを考慮し、誘致距離の円内に幹線道路や線路、河川などがある場合は、これらを考慮している。

- 街区公園(標準:0.25ha) 誘致圏:250m
- 近隣公園(標準:2ha) 誘致圏:500m
- 地区公園(標準:4ha) 誘致圏:1km

(2) 長期未整備となっている「都市計画公園」のあり方の検討

都市計画決定がされたものの、計画区域や地域課題の変化などにより、50年以上にわたり事業着手に至っていない都市計画公園も存在する。

こうした公園について、求められる機能や役割や住民のニーズを踏まえ、周辺のまちづくりとの整合を図りながら、その対応方針を長期未整備公園の計画の見直しを含め検討していく必要がある。

7. 人を惹きつけ、まちの文化を育む公園整備

公園とは

- ▶ 市民にとって、愛着や誇りを育む場
- ▶ 市にとって、まちの思いやセンスを表現できる空間

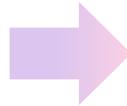


- 公園に訪れた人、公園を目にした人が感じるまちの文化
- 八王子らしさ（都市ブランド）

✚ まちづくりの思いを伝えていくために
見せていく



- 住民の温もりを感じる花壇
- 伸び伸びと遊ぶ子どもの姿
- 活発なアドプト活動



住みやすさ

まちへの期待

地域への愛着・
誇り

○ 地域コミュニティの発展に着目した再整備

人口減少社会だからこそ、子どもに着目

【子ども・子育て世代誘致策】

子育て支援、子どもを取り巻く人々をつなぐ事業展開

子ども・子育て世代に魅力ある公園づくり

○健やかな成長

- 幼児期における五感を
使った体験の大切さ

○子育て世代のつながり

- 子どもを介した緩やかなつな
がり、孤立化の防止



○担い手・交流による 生きがいづくり

- 関わりから生まれる高齢者の
生きがい、自己有用感

8. 協働のすそ野を広げる取組

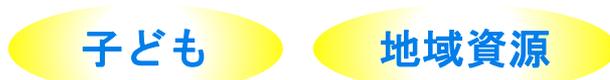
(1) 計画段階からの市民協働

(例) (仮)明神町中央公園(明神町二丁目157-7) 約3,000㎡

平成30年度

(仮)明神町中央公園の場合…

基本計画策定	今後の維持管理
<ul style="list-style-type: none">● 地元町会役員とともに「近隣町会・住民への説明会」● 地元町会による「公園整備実行委員会」の設置● <u>協働により基本計画を策定</u>	<ul style="list-style-type: none">● <u>地元小学校との連携</u><ul style="list-style-type: none">・ 公園名の命名・ 市民花壇の継続的管理● <u>若者支援機関との連携</u><ul style="list-style-type: none">・ 若者の地域交流・地域貢献となる活動と公園清掃のマッチング



市民が楽しみながら、気軽に参加

そのための支援とは…



つなぐ・持ち寄る

(2) 積極的な情報発信

(例)

- 指定管理者との連携による市ホームページ(公園課)の改修

公園にきてほしい
利用してほしい



公園へ出かけよう!
(タイトル名)

- (H31版)八王子市 子育てガイドブック「すくすく☆八王子」への公園案内掲載予定(考案中)

※ 市職員・一市民としての経験をいかす

9. 民間活力の活用

- Park-PFIや公募設置管理制度(法)の活用
- 指定管理者制度の有効活用
- 公園が持つ潜在的な魅力を発掘し、効果的に活用するため、企業やNPO団体などの多数の主体との連携や、公園の持つ資源や特性に合った新たな管理手法の検討(公園マーケティング、パークマネジメント)

10. 減災対策・防災対策

都市防災機能の強化

- (1) 人口密集地であり、大規模災害発生時には、多数の帰宅困難者が見込まれる「中央地域」などにおけるオープンスペースの確保
 - 地域防災計画との連携
 - 帰宅困難者の一時滞在施設の確保、がれき置き場・仮設住宅建設用地の確保
 - 身近な公園・学校における地域防災活動の促進
- (2) 市有地である急傾斜地の安全対策のあり方
 - 近年の気候変動・集中豪雨・大規模震災
 - 国・都の動向
 - 市民の人命・財産を守る市の責務
 - 莫大な事業費コスト

※自助・共助・公助
の役割とバランス

一完一

ご静聴いただき、ありがとうございました。